



2025 年 8 月 29 日

各 位

会社名 株式会社リップス  
代表者名 代表取締役社長 的場 隆光  
(コード番号：373A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役経営管理部長 上原 大輔  
(TEL. 03-6804-3101)

### 投資家の皆様からの Q&A に関するお知らせ (2025 年 8 月)

日頃より、当社へご関心をお持ちいただきありがとうございます。上場日以降、投資家の皆さまよりお問い合わせいただいた質問とその回答について、下記の通り開示いたします。

なお、本開示は投資家の皆さまへの情報発信の強化とフェア・ディスクロージャーを目的に開示するものです。

回答内容については、開示時点における当社の判断・見解に基づくものであり、今後の状況の変化や新たな情報の入手によって見直される可能性がある点ご了承ください。また、記載内容はあくまで一般的な説明であり、投資判断を行う際は、必ず最新の開示情報をご確認いただきますようお願い申し上げます。

#### 1. 業績に関して

Q. 商品売上及び利益について年間を通じた季節性はあるのか。

当社の商品自体に季節性はありませんが、最終的な配荷先となるドラッグストア様などの小売店舗では 9・10 月及び 4・5 月が店頭陳列棚の商品入替えの時期となっていることが多く、当社商品の新規配荷または棚落ちなどによって販売数量が増減する可能性があります。よって、当社の第 1 四半期及び第 3 四半期はこれらの時期にあたることから売上高増減が発生しやすい環境となっております。また当社の第 2 四半期は 12・1・2 月と年末年始を挟んだ営業日数の少ない時期に該当するため、他の四半期と比べて売上高が低調になる傾向があります。

Q. 中期計画や数値目標など来期以降の成長見通しについて教えて欲しい。

中期経営計画や数値目標につきましては、社内予算策定時に 3 ヶ年計画を立案し運用を行っておりますが、未だ事業規模も小さく、また商品の販売状況や経営における不確実な要素も多いことから、かえっ

て誤解を招いてしまうおそれもあります。よって当面の間、進行期の業績予想 1 期以外の数値公表については控えさせていただく方針です。しかしながら、当社は事業成長を企図して東証グロース市場に上場させていただいておりますので、これまでのような事業規模拡大を継続していけるよう企業努力をおこなっていく所存です。

Q. 今後も材料費や人件費の高騰が予想されるがコスト増の影響について、またその場合に販売価格への価格転嫁の余地はあるのか。

原材料の高騰、為替変動、人件費増加などによる仕入価格の高騰リスクはあると認識しておりますが、当社は製造を OEM メーカー様に委託していることから、これらの短期的な変動要素について当社が直接的に影響を受けることはありません。商品仕入価格の改定により当社の粗利が影響を受けるおそれがある場合には、販売価格の値上げも検討していきますが、現時点でそのような計画はありません。

Q. 広告費、販売促進費率について過去比率が変動している要因について教えてほしい。

これまで商品事業における広告費及び販売促進費については、商品売上高の 15%を予算の目安としております。EC 販売においては WEB 広告を運用しこれらの水準を管理しておりますが、その他に新商品、リニューアル、プロモーションの強化などを目的としたクリエイティブ制作のためのデザイン費用、モデル費用またこれらの付随費用等は商品売上高の増減とは非連動で発生する要因となっております。

Q. 短信以外に月次レポートなど足許の業績を示す KPI の公表はしないのか。

他業種においては、顧客数、アカウント数、出店数などを KPI として月次で公表されている事例があることも認識しておりますが、当化粧品業界において同様の事例は散見されないものと判断しております。また当社の事業形態上も候補となるいくつかの指標はありますが、いずれも永続的に売上高に直結し相関関係を示す KPI にはあらず、かえって誤認を与える可能性があるかと判断したことから、これらの数字の公表は行っておりません。

## 2. 株主還元策について

Q. 自社株買い、株主優待、配当は実施しないのか。

現時点においては方針として決定しているものではありません。株主還元は重要な経営課題と認識しておりますが、事業規模も小さく今後の成長を企図した場合に内部留保を優先するタイミングだと判断しております。今後の企業価値の向上、市場の評価、経営環境等を総合的に判断して適切な時期にこれらの実施を検討してまいります。

## 3. IR 体制について

Q. IR の頻度が少ないのではないのか。

当社は東京証券取引所が定める有価証券上場規程及びそれらの実務指針に則って適時開示を行っております。また、任意開示に関しましては、事柄の重要性に応じて当社の新商品、新サービス、開催イベン

トなど広く公表すべきと判断したものについては TDnet を通じて発表する方針であります。

Q. 決算スケジュールがわからない。

業績開示は、決算日（四半期の場合も同様）から 45 日目（土日・祝日にあたる場合は前営業日）での公表を予定しております。直近では、25 年 8 月期本決算が 10 月 15 日、26 年 8 月期第 1 四半期決算が 2026 年 1 月 14 日を予定しております。

Q. 決算説明資料は作らないのか。

決算説明資料につきましては、25 年 8 月期の決算短信開示時（10 月 15 日予定）より公表すべく作成準備を進めております。

以 上